

未来の起業家を育成する



公益財団法人 SAWADA FOUNDATION

澤田経営道場

公益財団法人

SAWADA FOUNDATION

# 財団概要

名称	公益財団法人SAWADA FOUNDATION
理事長	澤田秀雄（旅行会社エイチ・アイ・エス創業者）
所在地	東京都新宿区
事業内容	澤田経営道場の運営

2013年	一般社団法人SAWADA FOUNDATION設立
2015年	澤田経営道場 第1期生入門（HIS社内人材）
2016年	澤田経営道場 第2期生入門（HIS社内人材）
2017年	澤田経営道場 第3期生入門（一般募集開始）
2017年	内閣府の認定を受け、公益財団法人へ移行
2024年	澤田経営道場 第10期生入門

# 財団概要

理事	小野 次郎	日本企業危機管理協会 代表理事
	庄司 正英	ピーアークホールディングス株式会社 代表取締役会長
	福永 雅文	戦国マーケティング株式会社 代表取締役
	南 隆康	株式会社マリーナジャパン 代表取締役社長
監事	渡邊 芳樹	税理士法人 渡邊芳樹事務所 代表社員 公認会計士・税理士
評議員	井川 幸広	株式会社クリーク・アンド・リバー社 代表取締役社長
	大野 順二	公益財団法人 東京交響楽団 元専務理事
	織田 正幸	株式会社エイチ・アイ・エス 取締役常務執行役員
	神藏 孝之	イマジニア株式会社 代表取締役会長兼CEO
	川崎 悦道	合同会社Kマネジメントデザイン 代表社員
	分林 保弘	株式会社日本M&Aセンター 代表取締役会長
	(敬称略	五十音順 2024年7月1日現在)

# 財団設立趣旨

より良い社会の構築を目指して、経験は乏しくとも有望な青年を公募し、将来の日本を背負う人材を育成するとともに、世界の人々の相互理解の促進と人類の創造的発展に寄与することを目的に活動。

澤田経営道場とは

経験は乏しくとも

将来有望な若い人材を

起業家・政治家へ育成する場

# プログラム（座学と実務を通じて経営を学ぶ実践型）



## 座学研修 （6ヶ月）

- ・ 一流講師による講義
- ・ 幅広い知識の習得
- ・ 実務的な内容
- ・ 事業開発



## 実地研修 （12ヶ月）

- ・ 経営者視点での現場研修
- ・ 習得知識のアウトプット
- ・ 1年に3ヵ所での研修
- ・ チームマネジメント



## 自主研修 （6ヶ月）

- ・ 実証実験
- ・ 事業計画書作成
- ・ 資金調達
- ・ 法人登記/事業開始



# 選ばれる理由①



0→1と1→10の起業と経営が学べる

- ・ 離陸と安定飛行の両方を習得
- ・ 座学と現場経験
- ・ 起業に必要なスキルや知識を網羅的に学ぶ



# 選ばれる理由②



## 起業するために集中できる環境

- ・ 資金サポート
- ・ 参加費無料
- ・ 生活費補助としての資金提供  
(返済不要の奨学金として20-30万/月)
- ・ 自己研鑽の費用サポート





# 選ばれる理由③



## 同期・講師・卒業生など幅広い人脈形成

- ・ 高い志を持つ同期と切磋琢磨
- ・ 各分野で著名な講師陣
- ・ 身近な起業家として先輩の存在



# プログラム内容（座学研修）

座学研修  
(6ヶ月)

実地研修  
(12ヶ月)

自主研修  
(6ヶ月)

## 経営戦略

基本戦略や経営者のマインドなどを通じて

## 新規事業開発

市場調査、顧客課題の抽出、ビジネスモデル構築、市場規模算出など

## マーケティング

フレームワーク、WEBマーケティングなどを学び

## 財務/会計

財務諸表、事業計画書作成、資金調達など数字で語る経営者を目指す

## メンタリング

事業案のフィードバックをもらい、確度の高い事業を作り上げる

# プログラム内容（その他座学研修）

## 実践的な経営講座

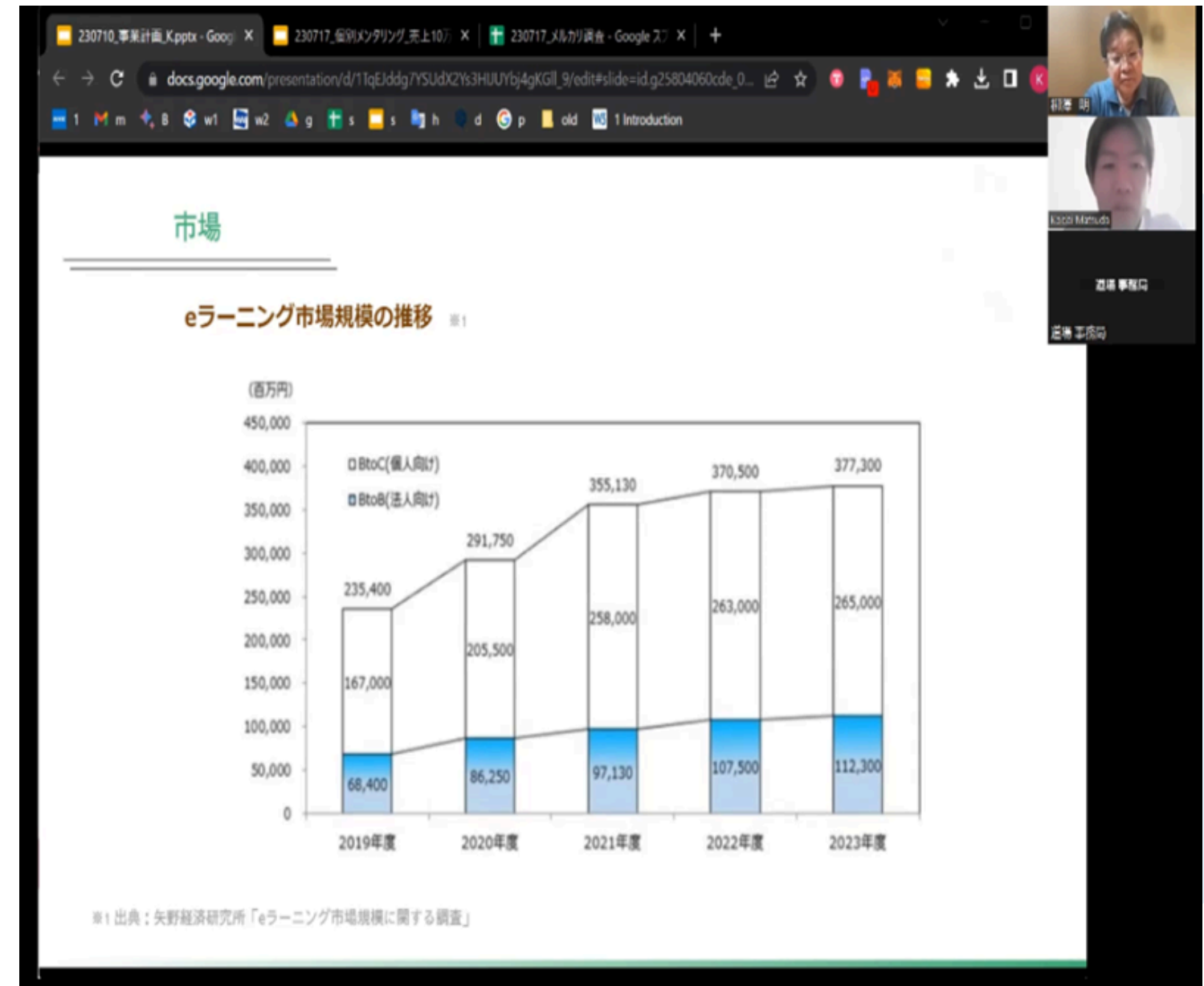
### 飲食店実習

- マーケットリサーチ
- 場所や商品の選定
- 事業計画書作成
- イベント実行



	1食	1日	初月	2か月目	Total
損益分岐点			✓	✓	✓
売上					✓
客数			✗		
平均客単価					
販管費			✓	✓	✓
販管费率					✓
食材費			✗	✓	✓
食材费率					✓
包装費					
包装费率					
限界利益			✓	✓	✓
限界利益率					✓
固定費			✓	✓	✓
固定比率					✓
出店費			✓	✓	✓
出店费率					✓
人件費			✓	✓	✓
時給					
労働時間(h)					
交通費					
人数			✓	✓	✓
人件费率					✓
初期費用			✓	✓	✓
初期経费率					✓
営業利益			✓	✓	✓
営業利益率					✓

## 個別メンタリング



# プログラム内容（実地研修）

座学研修  
(6ヶ月)

実地研修  
(12ヶ月)

自主研修  
(6ヶ月)

## 経営者視点

- ・ 現場主義
- ・ 数字分析
- ・ バランス感覚
- ・ スピード

## 課題発見/解決

- ・ 情報収集力
- ・ 分析力
- ・ 論理的思考
- ・ 仮説/実行力

## コミュニケーション

- ・ 協調性
- ・ 傾聴力
- ・ 謙虚さ

## リーダーシップ

- ・ 判断力
- ・ 決断力
- ・ マネジメント

# プログラム内容（実地研修）

実地研修先例 4ヶ月×3箇所＝1年間



企画・戦略



地方創生



新規プロジェクト



店舗マネジメント



新規顧客開拓



議員秘書インターン

# プログラム内容（自主研修）

座学研修  
(6ヶ月)

実地研修  
(12ヶ月)

自主研修  
(6ヶ月)

## 実証実験

- ・テストマーケティング
- ・実装
- ・検証
- ・改善

## メンタリング

- ・壁打ち
- ・ブラッシュアップ

## 起業準備

- ・事業計画書作成
- ・資金調達
- ・法人設立

## 事業開始

- ・営業
- ・商品/サービス

# 研修動画

<https://youtu.be/0-ez2So3Nz8>



# 卒業生の進路 2024年3月現在 (41名卒業)

起業：19名  
市議会議員：2名  
事業承継：2名  
会社役員：2名  
地方創生事業：5名  
起業準備中/一般企業：11名

起業家・政治家輩出率  
**51%**

※直近5年は65%の実績

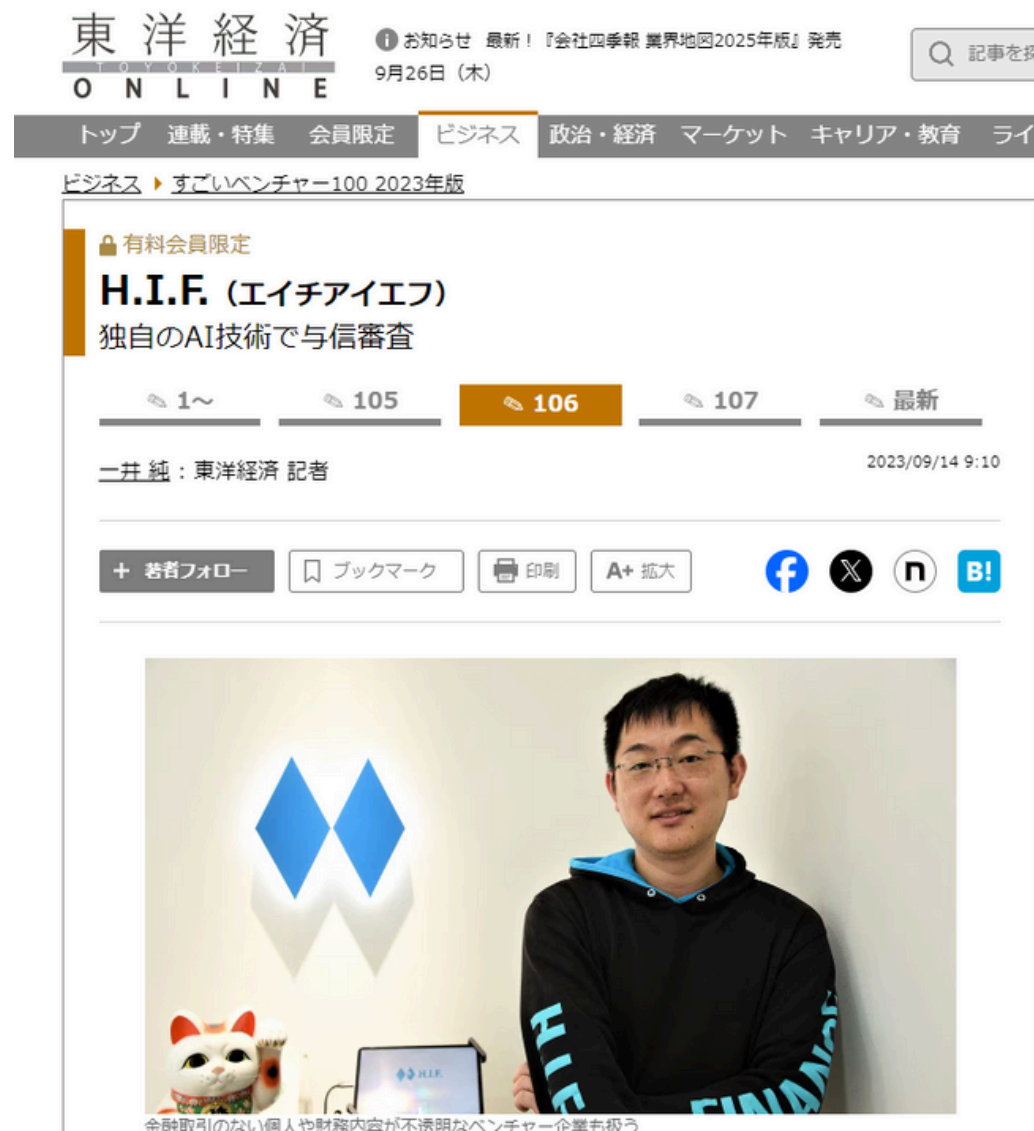
起業家の事業内容：商社、フィンテック事業、エネルギー事業、ヘルスケア事業、農家支援、飲食など

市議会議員：新潟県見附市議会議員、新潟県五泉市議会議員



# 卒業生の活躍

- ・2期生 東小菌さん
- ・H.I.F株式会社 代表取締役
- ・決済代行業/ファクタリング事業



東洋経済オンライン すごいベンチャー100 2023年  
[HTTPS://TOYOKEIZAI.NET/ARTICLES/-/700312](https://toyokeizai.net/articles/-/700312)

## 国内スタートアップ企業 資金調達金額ランキング

2020年1-12月

順位		社名	事業内容	調達金額 (億円)
1	↑	Spiber	新世代バイオ素材開発	316.0
2	↓	Mobility Technologies	タクシー配車アプリ「Go」など	266.2
3	↓	Loop	再生可能エネルギーを中心とした電力小売サービス「Loopでんき」など	123.5
4	↓	VPP Japan	電力コストの経営課題を解決する「オフグリッド電力供給サービス」	110.0
5	↓	アストロスケールホールディングス	スペース・デブリの除去技術の開発	107.5
6	-	APB	次世代リチウムイオン電池「全樹脂電池」の開発	96.0
7	↓	ヘイ	誰でも簡単に使えるキャッシュレス決済サービス「Coiney」など	91.2
8	↑	五常・アンド・カンパニー	貧困層向け小口融資のマイクロファイナンス事業	75.7
9	↓	アンドパッド	施工管理・業務管理システム「ANDPAD」の開発・販売・運営	59.7
10	↓	ベルフェイス	営業特化型Web会議システム「bellFace」	58.0
11	New	モンスター・ラボ	アプリ開発のグローバルソーシングプラットフォーム「セカイラボ」など	55.9
12	↓	Inagoraホールディングス	越境ECのトータルサービス「豌豆」	53.0
13	↓	Paidy	後払い決済サービス「Paidy」	52.6
14	↓	H.I.F.	決済代行・信用保証サービス「Fimple決済」	50.0

STARTUP DB 「国内スタートアップ資金調達金額ランキング (2020年1月~12月)  
[HTTPS://WWW.FORSTARTUPS.COM/NEWS/FINANCING-RANKING-20210114](https://www.forstartups.com/news/financing-ranking-20210114)

# 卒業生の活躍



変な商社(株) ホヨンジュ



コネクテッドロボティクス(株) 佐藤奉樹



(株)ユーリア 水野将吾

変な商社株式会社

🕒 2023年6月28日 15時00分



「変化進化あふれる未来を共創する」をミッションに掲げ、DXによるツーリズム業界の課題解決を目指す変な商社株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：ホヨンジュ 以下、当社）は、この度、千葉・横浜パートナーシップ 1号ファンドを引受先とする第三者割当増資を実施し、総額約5.9億円の資金調達を行いました。

千葉・横浜パートナーシップ 1号ファンドより調達した資金によって、宿泊業界が抱える人材不足を解決するDXシステムの開発を行い、業界の変革と課題解消、観光業のさらなる発展により、日本の観光立国化に貢献します。また、当システムによって、ツーリズム商社として独自のポジションを確立し、IPOを目指します。

第三者割当増資にて  
総額約5.9億円の資金調達を実施

変な商社株式会社  
HENNA TRADING CO.,LTD

コネクテッドロボティクス株式会社

🕒 2023年2月28日 12時00分



食産業向けロボットサービスの研究開発および販売を行うコネクテッドロボティクス株式会社（本社：東京都小金井市、代表取締役：沢登哲也 以下CR）は資本業務提携を中心としたラウンド、シリーズBで総額17億円の資金調達を実施したことをお知らせします。

食産業のメインプレーヤーとなる方々との連携を深め、今回調達した資金とパートナーシップによって、食産業を革新するロボティクスサービスの開発と量産体制を構築します。



株式会社ユーリア

🕒 2023年4月21日 15時00分



株式会社ユーリア（本社：愛知県名古屋市、代表取締役：水野将吾、以下：ユーリア）と株式会社ユージェナ（本社：東京都港区、代表取締役：出雲充、以下：ユージェナ）は、両社が持つ知見を活用しながら、これまでに簡便な分析が難しいとされる栄養素の分析技術の開発を目指し、共同研究を開始致しました。

それらの成果をもとに、個人における栄養状態の把握・改善から、特定地域における栄養調査まで、より幅広く展開していくことを目指します。



# 支援内容

## － 研修参加費

無料（寄附金を募り運営）

## － 資金援助

研修資金：卒業まで月額20万円（最大30万円）を支給

活動資金：最大80万円を上限に支給（自主研修期間のみ）

## － メンタリング制度

事業化までを伴走

# よくある質問

Q 澤田経営道場の特徴は何ですか？

- ①起業のノウハウだけでなく幅広い知識の習得を目的とした座学講義
- ②座学で得た知識を実践で活かす実地研修（知識を知恵へ変換する場）
- ③2年間起業することに集中できる環境

Q 参加者の年齢や性別比率は？

年によって異なりますが30歳前後が一番多く、男性7割・女性3割程度となります。

Q なぜ無料で研修参加ができるのでしょうか？

当財団は未来の日本を支える人材育成機関として澤田経営道場を運営しております。

若者へ知識と経験の場を提供し、起業家として活躍することで、より良い社会の構築に貢献できると考えております。その意向に賛同いただいている企業様や卒業生から寄付を募り道場生が無償で学べる場を提供しております。

# よくある質問

## Q 研修スケジュール

座学研修（都内会場にて研修）

基本的に週5日（8：30～17：00）ほど講義を実施（土日も含まれます）

実地研修（日本全国の企業にて研修）

基本的に週5日ほど提携先企業様にてを実施（土日も含まれます）

自主研修（各自）

起業に向けた準備期間となりますので各自で取り組んでいただきます。

## Q 研修参加条件

在籍中は澤田経営道場の研修に専念していただきます。

講義や実地研修への不参加や一定期間の休学などは認められませんのでご了承ください。

## Q 兼業・副業・兼学について

研修資金を支給しておりますので研修期間中は兼職禁止（副業含む）となります。

ただし自身の起業に関する事業活動は可能です。

# まとめ

- － 澤田経営道場は人材育成機関
- － 起業家・政治家になるために必要な研修
- － 2年間研修に集中できる環境を提供

# 2025年4月開講 第11期生応募概要

募集人数：10名前後

対象年齢：20歳～40歳（入門時）

在籍期間：2025年4月より2年間

研修参加費：無料

研修資金：毎月20万円～30万円（雇用関係はございません）

活動資金：起業に必要な自己研鑽費用を最大80万円支給（自主研修期間のみ）

住居(座学研修中)： 地方より参加する者はシェアアパート、または賃貸アパートを提供（一部費用自己負担）

住居(実地研修中)： 研修場所近隣のシェアアパート、または賃貸アパートを提供

住居(自主研修中)： 住居の提供なし

Search... 澤田経営道場

検索

# 代表より



澤田 秀雄

株式会社エイチ・アイ・エス  
最高顧問

H.I.S.ホテルホールディングス株式会社  
代表取締役会長兼社長

一般社団法人アジア経営者連合会  
会長

20年以上も続いた長期的経済不振の中で、チャレンジを避け無難さを志向する風潮が広く日本社会に蔓延し、日本は活力のない成熟社会になってしまいました。私が事業を起こした1980年代初頭は、社会の矛盾や制度上の壁は今以上にありましたが、反面、若者のチャレンジ精神やそれを応援する気運も今日以上に高かったと確信しています。

今、社会に求められるのは、チャレンジを恐れない次世代のリーダーです。しっかりとした志を持ち、既成概念に捉われず夢の実現や問題解決に向け、皆を引っ張っていく将来の政治家や企業の経営者です。

志のある元気な若者を、世界をリードできる人材に育てるために澤田経営道場を設立しました。二年間の研修では、座学に加え指導者として必要な知力、胆力、実践力を養っていただきます。これから何かを達成したいという人たちは、是非道場にチャレンジしていただき、新しい仲間たちと共に切磋琢磨し、より良い社会の構築を目指して世界を変えていこうではありませんか。



公益財団法人 SAWADA FOUNDATION